

日野市における ウクライナ避難者支援 ～地域支援のネットワーク化～

日野市企画部平和と人権課
平和と多文化共生係 平田
令和5年3月16日(木)

本日の内容

1. 日野市とウクライナの関係
2. 避難者支援に至る経緯
3. 支援内容と役割分担
4. 事例紹介
5. 他団体との連携

1. 日野市とウクライナの関係

2. 避難者支援に至る経緯

3. 支援内容と役割分担

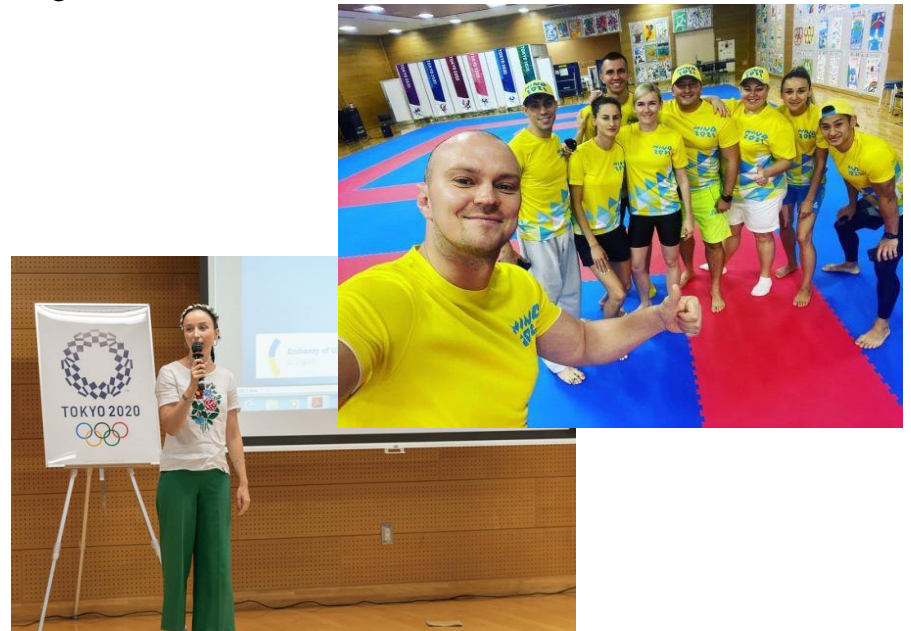
4. 事例紹介

5. 他団体との連携

1. 日野市とウクライナの関係

日野市は東京2020オリンピック・パラリンピックで、ウクライナ空手チームのホストタウンとして登録。

2019年頃からは文化交流イベントや事前キャンプを通して交流を続けてきました。



※市HPより抜粋

本日の内容

1. 日野市とウクライナの関係
- 2. 避難者支援に至る経緯**
3. 支援内容と役割分担
4. 事例紹介
5. 他団体との連携

2. 避難者支援に至る経緯

令和4年2月24日 日野市長

- ・ウクライナ侵攻開始報道を受け、コメントを公開
- ・ウクライナ避難者に対する包括的な支援を指示



- ①ホストタウン：企画経営課
- ②多文化共生：平和と人権課
- ③福祉的視点：福祉政策課

横断的な課題に対し、連携体制を強化し、支援策を検討

2. 避難者支援に至る経緯

支援策を検討していく中…

金銭的な支援だけではなく、日常生活に寄り添った「ケースワーク」的な支援が必要である。

しかし、専門的な知識や経験のある人材が少なく、対応に当たれる職員が少ないことが課題となる。



そこで福祉政策課で所管している
「日野市社会福祉協議会」のノウハウを活用

2. 避難者支援に至る経緯

社会福祉協議会を選んだ3つの理由

- ①相談窓口・サービス事業などの福祉事業について高度な知識と豊富な実績があること。
- ②地域支援や関係機関とのネットワークづくりを行えること。
- ③地域での生活基盤の定着という重要性を理解し活かせること。

これら全て満たす業者として、市の福祉事業を多く担い、福祉の自主事業も実施している日野市社会福祉協議会が適任と判断



支援業務委託契約を締結

本日の内容

1. 日野市とウクライナの関係
2. 避難者支援に至る経緯
- 3. 支援内容と役割分担**
4. 事例紹介
5. 他団体との連携

3. 支援内容と役割分担

【支援内容】

①訪問支援

ウクライナ避難者の居宅を職員が直接訪問し、困りごと等の聞き取りを行い、買い物への同行や行政サービスに結びつけるなどの支援を行う。

なお、訪問の際には必要に応じてウクライナ避難者との通訳が可能な通訳支援員を同行させるものとする。

②相談支援

ウクライナ避難者からの相談を受け対応する。原則として受託者の営業時間内とするが、緊急時などは通訳支援員等により時間外に対応することもできるものとする。

3. 支援内容と役割分担

【役割分担】

日野市

【行政に関する支援】

- ・国・都と連絡調整
- ・入管庁とのやり取り
- ・行政サービスの提供
- ・市役所手続きの各課調整
- ・避難者への情報提供

社会福祉協議会

【日常生活に関する支援】

- ・生活状況の把握
- ・買い物への同行支援
- ・医療機関への通院同行支援
- ・避難者のニーズ把握
- ・避難者の相談先
- ・避難者への情報提供

完全な分業ではなく、相互に協力をしながら支援に当たっている。

本日の内容

1. 日野市とウクライナの関係
2. 避難者支援に至る経緯
3. 支援内容と役割分担
- 4. 事例紹介**
5. 他団体との連携

4. 事例紹介

・避難者の受入決定から転入当日までの一例

【日野市】

【社会福祉協議会】

①避難者受入を決定し、
社会福祉協議会へ連絡

②市営住宅提供について
担当課と調整

③ライフライン開通手続き

④転入時の必要手続きを
各課と調整

⑤庁内での転入手続きに同行

⑥市営住宅の明け渡し

①転入時のウクライナ語
通訳者の派遣を調整

②避難者の担当者を決定

③担当者、通訳者と共に
庁内での転入手続きに同行

④市営住宅の明け渡し

⑤必要物品の買い物へ同行

4. 事例紹介

・避難者の医療機関受診に関する一例

【日野市】

- ①避難者より体調不良を訴える
緊急性の高いメールを受信
- ②市の保健士へ協力を要請し、
自宅を訪問
- ③医療機関の受診に同行

- ④医療費に関する方向性の検討と
必要な手続きを支援

【社会福祉協議会】

- ①市からの連絡を受け
自宅を訪問
- ②医療機関の受診に同行

- ③同席が必要な医療機関への
通院同行

本日の内容

1. 日野市とウクライナの関係
2. 避難者支援に至る経緯
3. 支援内容と役割分担
4. 事例紹介
- 5. 他団体との連携**

5. 他団体との連携

・ひの多文化共生ネットワーク

市内で外国ルーツの方に対する支援を実施している団体と日野市が、日野市の多文化共生に係る諸問題を共に協議し、課題解決をはかりながら、多文化共生のまちをめざす取組に寄与することを目的とした連携会。

日野市国際交流協会を始めとする任意団体や日本語学校等、市も合わせ10団体で組織される。

【連携支援】

避難者の日本語学習希望に応じ、日本語学習支援ボランティアによる日本語教室での受入の協力体制を構築。

定期的な連携会議では支援状況の報告や、必要に応じて支援に関する相談をしている。

5. 他団体との連携

・ウクライナ・ひのの暮らしサポートネットワーク

日野市で組織する避難者のサポート体制

- ①ワンストップ窓口の設置
- ②情報集約とニーズのマッチング
- ③住居・サービスなど、提供の申し出受付

【連携支援】

市内の様々な分野の企業や団体等から協力やアドバイスを受けるための連携体制を構築。

※社会福祉協議会・ひの多文化共生ネットワークを含む

実際にビーツや食糧の提供や、リサイクルショップでの日用品の提供(限度額有り)などを実施。

ご清聴ありがとうございました。

ご不明の点は平田まで

電 話:042-584-2733

メール:heiwa@city.hino.lg.jp